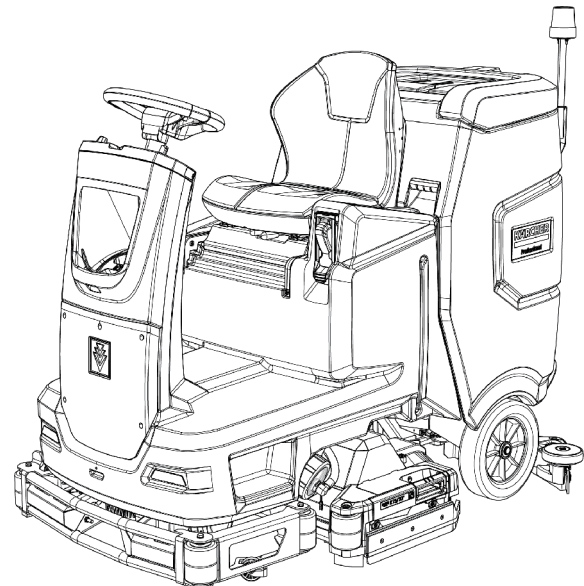


B 110 R

目次

一般的な注意事項	3
機能	3
規定に沿った使用	3
環境保護	3
対応アクセサリと交換部品	3
同梱品	3
安全注意事項	3
マシンに関する説明	8
取り付け	11
マシンの準備	12
マシンの使用	13
清掃作業の終了後	17
インテリジェントキー（灰色）	18
マシンの運搬	20
保管	21
お手入れとメンテナンス	21
故障かな?と思ったら	25
保証	27
対応アクセサリ	27
テクニカルデータ	28



59691670



(08/21)

一般的な注意事項



マシンを初めて使用する前に、この取扱説明書の注意事項と記載事項に従ってください。本製品に同梱されているすべての取扱説明書は、いつでも閲覧できるように大切に保管してください。

機能

この床洗浄機は、平らな床のウェットクリーニングに使用されます。

水と洗浄剤を適切な割合で混合することにより、それぞれのクリーニング作業に合わせてマシンを調整することができます。洗浄剤の希釈率は、タンクに追加する量、または注入装置(DOSE 機能、ディスクモデルはオプション)によって調整します。

ブラシへの給水は、速度依存または一定です。

清水用タンクと汚水用タンクの容量(P.28「テクニカルデータ」を参照)により、長時間の作業で効果的な洗浄が可能になります。

駆動モーターを搭載しています。

注意事項

マシンには、それぞれのクリーニング作業に応じてさまざまな対応アクセサリーを装備できます。カタログをお求めいただくか、ケルヒージャパンホームページにアクセスしてください。

規定に沿った使用

このマシンは、ホテル、学校、病院、工場、店舗、オフィス、レンタル会社などの商用および産業用に適しています。このマシンを使用する際は、必ず取扱説明書に記載された指示に従ってください。

- このマシンは、湿気や研磨の影響を受けない滑らかな床の掃除にのみ使用できます。
- このマシンは、屋内使用を前提にしております。
- このマシンの動作温度範囲は 5 ~ 40°C です。
- このマシンは、凍った床の清掃には適していません(例: 冷蔵倉庫)。
- このマシンの最大水深は 1 cm です。最大水深を超える可能性のある環境での使用に適していません。
- 充電器や電池を使用する場合は、取扱説明書に記載されたもののみを使用してください。それ以外の使用は充電器またはバッテリーの販売者にご確認ください。
- このマシンは、公共の交通路の掃除には適していません。
- このマシンは、圧力に弱い床面では使用しないでください。床の単位面積当たりの許容荷重を考慮の上使用してください。このマシンによる単位面積あたりの荷重は決まっています(P.28「テクニカルデータ」を参照)。
- このマシンは、爆発の可能性のある環境での使用には適して

いません。

- このマシンは、使用可能な最大傾斜作業範囲が決まっています(P.28「テクニカルデータ」を参照)。

環境保護



梱包材はリサイクル可能です。各自治体の規定に沿ってリサイクル処理してください。



電気機器および電子機器には、誤って取り扱ったり廃棄したりすると人間と環境に危険を及ぼす可能性があるバッテリーや充電式バッテリーパックあるいはオイルなどが含まれています。これらはマシンが適切に機能するために必要な構成要素です。このシンボルが表記されているマシンは、各自治体の規定

に従って廃棄してください。

対応アクセサリーと交換部品

純正のアクセサリーおよび純正のスペアパーツのみ使用してください。これによりマシンを安全にトラブルなくご使用できます。アクセサリーやスペアパーツに関する詳細については、ケルヒージャパンホームページをご覧ください。

同梱品

開梱の際に内容物が揃っているか確認してください。

付属品が欠けている場合や輸送による損傷があった場合は販売業者にご連絡ください。

安全注意事項

マシンを初めて使用する前に、この取扱説明書を読んで遵守し、それに応じて行動してください。

このマシンは、使用可能な最大傾斜作業範囲が決まっています(P.28「テクニカルデータ」を参照)。



警告 傷害の危険性

許容勾配を超えない場所でのみマシンを使用してください(P.28「テクニカルデータ」を参照)。



警告 誤操作による事故の危険性

怪我のおそれ

使用者はマシンの使用方法について適切な訓練を受ける必要があります。

マシンは、フードとすべてのカバーが閉じている場合にのみ使用できます。

安全装置

⚠ 注意

安全装置を取り外したり改造しない

安全装置は使用者を保護するためのものです。

安全装置に変更を加えたり、無効にするのは絶対におやめください。

安全スイッチ

すべての機能を即座に停止する場合：安全スイッチを「0」にします。

- 安全スイッチをオフにすると、マシンのスイッチがオフになります。
- 安全スイッチは、すべての機能に直接作用します。

シートスイッチ

作業中や運転中に使用者が席を離れると、シートスイッチにより短時間でマシンが停止します。

マシンのシンボマーク



⚠ 危険

事故の危険性

- 道路では、高速で転倒する危険性が高まります。下り坂はゆっくり走行してください。坂道では曲がらないようにしてください。高速走行時には、ステアリングの角度を大きくして小刻みに曲がらないようにしてください。



⚠ 警告

火傷の危険性

- このマークが付いている部品は、動作中に高温になります。このマークがついている部品にはさわらないようにしてください。これらの部品は、作業前に冷やしておいてください。



⚠ 注意

損傷の危険性

- 水がかかると吸込口が破損します。

警告シンボル

バッテリーを取り扱うときは、次の警告に従ってください。

	バッテリーの取扱説明書の情報を確認してください。
--	--------------------------

	目の保護具を着用してください。
	子供を酸やバッテリーから遠ざけてください。
	爆発の危険性
	火、火花、裸火、喫煙は禁止されています。
	化学火傷のリスク
	応急処置
	警告通知
	適切な処理
	バッテリーをゴミ箱に捨てないでください。

安全上のご注意

⚠ 危険

- この注記はマシンの誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性が高い危険事項が記載されています。

⚠ 警告

- この注記はマシンの誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある警告事項が記載されています。

⚠ 注意

- この注記はマシンの誤った取り扱いにより、使用者が傷害を負う可能性がある注意事項が記載されています。

注意事項

- この注記はマシンの誤った取り扱いにより、物的損害につながる可能性があります。

保護具

⚠ 注意

- ・ マシンを操作するときは、適切な手袋を着用してください。

一般的な安全上の注意

⚠ 危険

- ・ 窒息の危険があります。フィルムの包装は子供の手の届かないところに保管してください。

⚠ 警告

- ・ マシンは適切に使用するためにのみ使用してください。マシンを操作するときは、周囲の状況を把握し、第三者、特に子供に注意してください。
- ・ このマシンは、身体的、感覚的、精神的な能力に制限がある人、または経験や知識が不足している人による使用を前提としていません。
- ・ マシンの使用方法を指示された、または操作能力を証明し、明示的に使用を指示された人のみがマシンを使用する必要があります。
- ・ 子供が本マシンを玩具として遊ばないように触らせないでください。

注意事項

- ・ 安全装置は使用者自身の保護のために提供されています。安全装置を改造したり無効にしないでください。

感電の危険性

⚠ 危険

- ・ マシンの電圧は、電源の電圧と一致している必要があります。
- ・ 濡れた手で電源ソケットや電源プラグには絶対に触れないでください。
- ・ 保護クラスⅠマシンは正しくアースされた電源に接続してください。

⚠ 警告

- ・ 漏電時はすぐにマシンのスイッチをオフにします。
- ・ マシンから泡が発生したり、液体が漏れたりした場合は、すぐにマシンのスイッチをオフにして、充電式バッテリーパックを取り外してください。
- ・ 電源ケーブルと電源ケーブルの電源プラグが付いている場合は、毎回動作前に破損がないか確認してください。電源ケーブルが破損した場合は、マシンを使用しないでください。破損した電源ケーブルを、認可カスタマーサービスまたは当社エンジニアに依頼して交換してください。
- ・ 電源ケーブルや延長ケーブルをの上を走ったり、押しつぶしたり、引っ張ったりして、損傷を与えないでください。電源ケーブルを熱、オイル、鋭利なものから保護してください。
- ・ ケーブル交換時を含め、メーカーが規定するメイン接続ケーブルのみを使用してください。種類と注文番号については、

取扱説明書を参照してください。

- ・ 電源または延長ケーブルのカップリングの交換は、同じスブラッシュガードと強度を持つカップリングと交換してください。

注意事項

- ・ スイッチをオンにすると、一時的に電圧降下が発生します。
- ・ 電源の状態が悪いと、他のマシンが故障する可能性があります。

操作

⚠ 危険

- ・ 危険区域（サービスステーションなど）でマシンを使用する場合は、その区域の安全規則を順守してください。
- ・ 爆発の危険性がある場所での操作は禁止されています。
- ・ 液体、可燃性ガス、爆発性粉塵、および希釈されていない酸や溶剤をスプレーしたり、掃除機をかけたりしないでください。これらには、ガソリン、シンナー、または灯油が含まれます。これらは、吸引空気の乱流によって爆発性の蒸気または混合物を形成する可能性があります。また、アセトン、未希釈の酸および溶剤は、マシンを浸食します。
- ・ 燃焼またはくすぶっている物体 / 物質を吸引しないでください。

⚠ 警告

- ・ 人や動物の清掃に使用しないでください。
- ・ 傾斜面では、取扱説明書に記載されている進行方向と傾斜角を超えないようにしてください。
- ・ 回転部分に引っ掛かって飛び散る可能性のある物体が作業領域にないことを確認してください。
- ・ 回転部分に引っ掛からないように、ぴったりした服を着用してください。（ネクタイや、長いスカートや幅の広いスカートは避けてください）

⚠ 注意

- ・ 操作の前に、マシンとアクセサリ、特に主電源接続と延長ケーブルを毎回チェックして、安全で正しく機能していることを確認してください。損傷があった場合は電源プラグを抜いて、マシンを使用しないでください。
- ・ マシンの動作中は、マシンを放置しないでください。マシンから離れる場合は、マシンを停止し、意図せず動かないようにマシンを固定し、必要に応じてパーキングブレーキをかけ、インテリジェントキー（KIK）を取り外してください。
- ・ 漏れが発生した場合は、すぐにマシンのスイッチをオフにしてください
- ・ マシンの使用中は絶対にカバーを開けないでください。
- ・ このマシンは、健康に有害なほこりを吸うのには適していません。

注意事項

- ・ 0° C 未満の温度でマシンを操作しないでください。
- ・ 取扱説明書で指定されているアクセサリとアタッチメントを接続する場合にのみ、マシンのソケットを使用してください。
- ・ マシンは掃除機ではありません。吐水した量より多くの液体

を吸引しないでください。乾燥した汚れを吸引するためにマシンを使用しないでください。

- このマシンは、取扱説明書に記載されている床面での使用にのみ適しています。
- このマシンは、水位 1cm までの湿ったフロアに適していません。水位が 1cm を超える場所では使用しないでください。
- 汚水と塩水を処分するときは、法規制を遵守してください。
- イグニッションキーが装備されているマシンからインテリジェントキー (KIK) を取り外して、不正使用を防止します。
- 低温の屋外でマシンを使用しないでください。

洗浄剤

⚠ 注意

- 洗浄剤は子供の手の届かないところに保管してください。
- 推奨される洗浄剤を希釈せずに使用しないでください。
- これらの製品は、酸、アルカリ、または環境に有害な物質を含まないため、安全に使用できます。洗浄剤が目に入った場合は、すぐに水で十分に洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。洗浄剤を飲み込んだ場合も同様です。
- ケルヒャーが推奨する洗浄剤のみを使用し、洗浄剤メーカーが指定した使用方法、廃棄方法、および加温の指示に従ってください。

回転ブラシ / ディスク

⚠ 危険

- 感電の危険があります。主電源接続または延長ケーブルをクリーニングヘッドの回転ブラシ / ディスクと交差させないでください。

⚠ 注意

- 不適切なブラシ / ディスクの使用はたいへん危険です。マシンに付属のブラシ / ディスクまたは取扱説明書で推奨されているもののみを使用してください。

バッテリー

⚠ 危険

- 爆発するおそれがあります。裸火をバッテリーやバッテリーを充電する部屋に近づけないでください。また、バッテリーを充電する部屋やバッテリーの近くで火花や煙が発生しないようにしてください。
- 爆発および短絡のおそれがあります。バッテリーに工具などを置かないでください。
- 適切な消火剤は、二酸化炭素、水、泡、および粉末です。

⚠ 注意

- バッテリーの酸により怪我をするおそれがあります。それぞれの安全規則を順守してください。
- バッテリーとバッテリー液を取り扱うときは、保護手袋、保護服、ゴーグル、マスクを着用してください。

- バッテリー液で汚れた、または濡れた衣服はすべてすぐに脱いでください。バッテリー液と接触した皮膚の部分は水で洗うか、シャワーを浴びてください。
- 目に入った場合：水で 15 分以上軽くすすいでください。必要に応じて、コンタクトレンズを取り外し、すすぎを続けます。
- バッテリー液のガスを吸入してしまった場合：きれいな空気呼吸してください。
- バッテリー液を飲み込んでしまった場合：すぐに大量の水を飲んでください。活性炭を摂取します。嘔吐を誘発しないでください。
- すぐに医療センターまたは医師に連絡してください。
- バッテリー液が地面や下水道に到達しないようにしてください。
- こぼれたバッテリー液は、結合剤 (砂など) で広がるのを防ぎます。
- バッテリー液を石灰またはソーダで中和し、各自治体の規定に従って処分してください。

注意事項

- バッテリーと充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。バッテリーの取り扱いに関する安全注意事項を順守してください。
- バッテリーを放電状態のままにせず、できるだけ早くバッテリーを充電してください。
- 漏れ電流を避けるために、バッテリーは清潔で乾燥した状態に保ってください。バッテリーを汚染や金属粉から保護します。
- 使用済みバッテリーは、各自治体の規定に従って廃棄してください。

空気入りタイヤの場合

⚠ 注意

- 修理とスペアパーツの取り付けは、認可カスタマーサービスのみが行ってください。
- マシンを操作するときは、常に適切な手袋を着用してください。
- スプリットホイールリムを備えたマシンの場合：タイヤの空気圧を設定する前に、すべてのホイールリムボルトがしっかりと締められていることを確認してください。
- タイヤの空気圧を設定する前に、コンプレッサーに減圧弁が正しく設定されていることを確認してください。
- タイヤの最大空気圧を超えないようにしてください。タイヤの空気圧は、タイヤと、必要に応じてホイールリムで読み取る必要があります。これらの値が異なる場合は、小さい方の値を使用してください。

搭乗式のマシンの場合

⚠ 危険

- マシンは公道での使用は許可されていません。公道で使用可能にする変換キットについては、販売店にお問い合わせください。

さい。

- 乗客を運ぶことは禁止されています。
- シートに座って使用してください。
- 落下物によって使用者が立ち往生する可能性のある場所では、落下物から保護するためのオーバーヘッドガードなしでマシンを使用しないでください。

ケアとサービス

⚠ 警告

- クリーニング、サービス、部品の交換、および別の機能への切り替えの前に、マシンのスイッチをオフにして、イグニッションキーを取り外す必要があります。主電源で動作するマシンの主電源プラグを外します。バッテリー駆動のマシンでは、バッテリープラグを抜くか、バッテリーを取り外します。

⚠ 注意

- 修理作業、スペアパーツの取り付け、および電気部品の作業は、認可カスタマーサービスのみが行ってください。
- 修理は、関連するすべての安全指示に精通している、この分野で資格のある承認されたカスタマーサービスまたは当社エンジニアのみが実行できます。
- 水の流れる弁の部分は定期的に清掃し、損傷の兆候がないか確認します。

注意事項

- 産業用機器の安全検査に注意し、各地域の規制に従ってください。
- 短絡や故障の恐れがありますので、ホースや高圧洗浄機でマシンを清掃しないでください。

アクセサリーとスペアパーツ

⚠ 注意

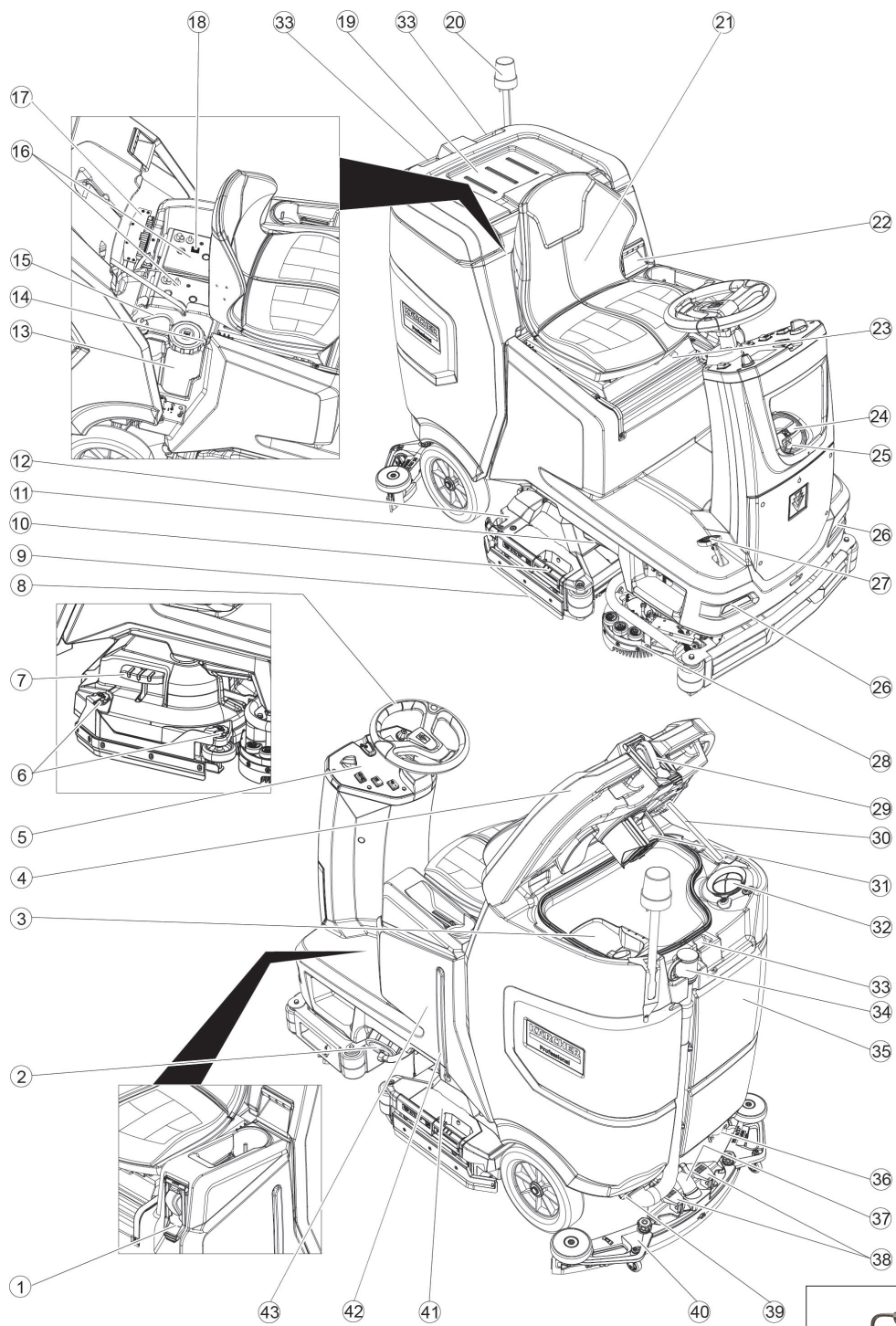
- ケルヒャーが認定したアクセサリーとスペアパーツのみを使用してください。純正アクセサリーと純正スペアパーツのみが、マシンが故障なく安全に動作することを保証します。

マシンの運搬

⚠ 注意

- 輸送前にモーターを停止してください。重量を考慮して、マシンを固定します。取扱説明書の P.28 「テクニカルデータ」を参照してください。

マシンの概要

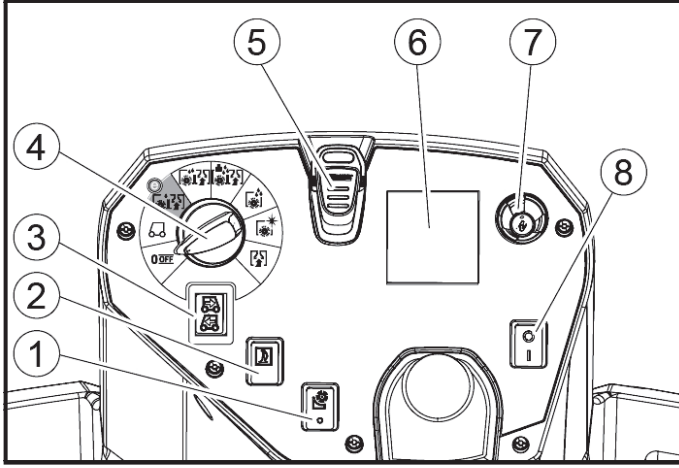


- ① * 補充装置
- ② 清水フィルター付き清水用タンクキャップ
- ③ 粗ゴミフィルター (R クリーニングヘッドのみ)
- ④ 汚水用タンクキャップ
- ⑤ 操作パネル
- ⑥ リアスクイジーゴム調整ホイール
(D クリーニングヘッドのみ)
- ⑦ ブラシ交換ペダル (D クリーニングヘッドのみ)
- ⑧ ステアリングホイール
- ⑨ リアスクイジーゴム
- ⑩ ブラシ交換ハンドル (R クリーニングヘッドのみ)
- ⑪ サイドライト
- ⑫ 粗ゴミ容器 (R クリーニングヘッドのみ)
- ⑬ 洗剤剤キャニスター
- ⑭ 銘板
- ⑮ 洗剤剤サククションホース
- ⑯ バッテリー
- ⑰ * 内蔵充電器 (R クリーニングヘッドのみ)
- ⑱ バッテリーコネクター (外付け充電器付き)
充電器用メインケーブル (内蔵充電器付き)
- ⑲ 掃除セット「Homebase Box」の収納スペース
- ⑳ * 警告灯
- ㉑ シート
- ㉒ 汚水用タンクラッチ
- ㉓ シート調整レバー
- ㉔ 清水用タンク注入口
- ㉕ ホースホルダー
- ㉖ デイタイムランニングライト
- ㉗ アクセルペダル
- ㉘ * サイドスクラビングブラシ
- ㉙ * 汚水用タンク洗剤装置用水接続口
- ㉚ 汚水用タンクカバーサポート
- ㉛ フロート
- ㉜ タービン保護フィルター
- ㉝ スクイジーホルダー
- ㉞ ドージングユニット付き汚水用タンクドレンホース
- ㉟ 汚水用タンク
- ㊱ * モップホルダー
- ㊲ サククションホース
- ㊳ スクイジー取り付けレバー
- ㊴ 汚水用タンクキャップ
- ㊵ スクイジー
- ㊶ クリーニングヘッド
- ㊷ 清水補充レベル表示
- ㊸ 清水用タンク
- ㊹ **100V 充電器
- * オプション
- ** ディスク仕様は標準同梱品、ローラーモデルはオプション

色分け

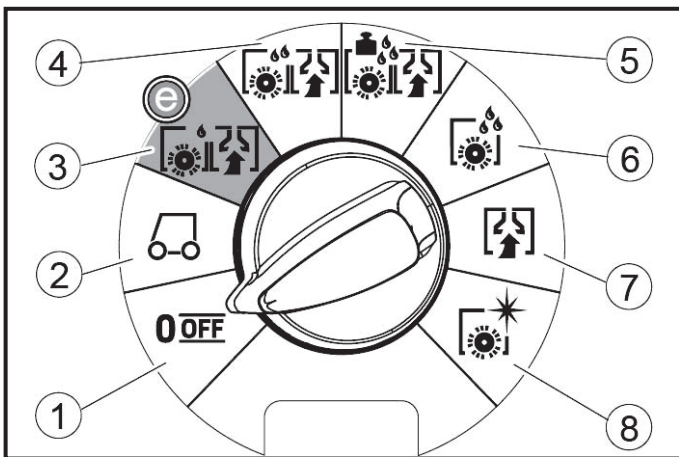
- ・ クリーニングプロセスまたは日常のメンテナンスのコントロールは黄色です。
- ・ メンテナンスとサービスのコントロールは薄い灰色です。

コントロールパネル



- ① * サイドスクラビングブラシスイッチ
 - ② ホーン
 - ③ 走行方向スイッチ
 - ④ プログラムスイッチ
 - ⑤ インテリジェントキー (KIK)
 - ⑥ ディスプレイ
 - ⑦ 情報ボタン
 - ⑧ 安全スイッチ
- * オプション

プログラムスイッチ



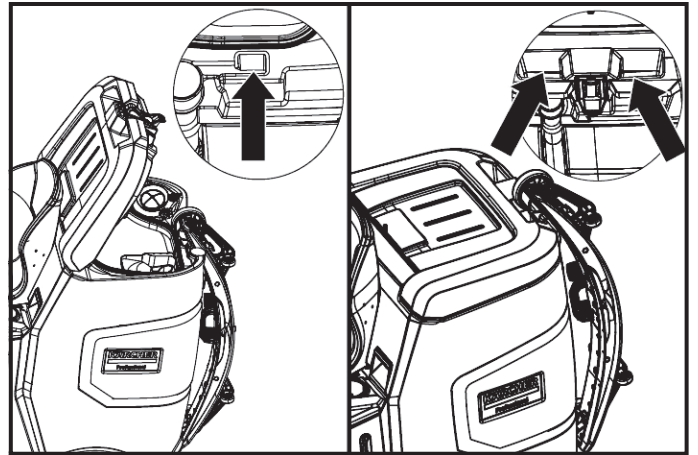
- ① オフ
マシンの電源をオフにします。
- ② トランスポートモード
操作場所まで運転します。
- ③ エコモード
床を濡らして掃除し (水量、ブラシ回転数低下)、汚水を吸引します (汚水吸引力低下)。
- ④ ノーマルモード

床を濡らして掃除し、汚水を吸引します。

- ⑤ ヘビーモード
床を濡らして掃除し (ブラシ接触圧上昇)、汚水を吸引します。
- ⑥ スクラブモード
掃除機を使わないプレクリーニングです。
床を濡らして洗剤を塗布しながら掃除します。
- ⑦ サクションモード (吸引のみ)
ゴミを吸い取ります。
- ⑧ ポリッシュモード
洗剤を塗布することなく、ブラシの高速回転で床を磨きます。









スクイジーホルダー

狭い場所を走行するときは、スクイジーを取り外して汚水用タンクのカバーの開口部のいずれかに吊り下げることができます。



スクイジーは、汚水用タンクの凹部に吊るして保管することができます。

マシン上のシンボル

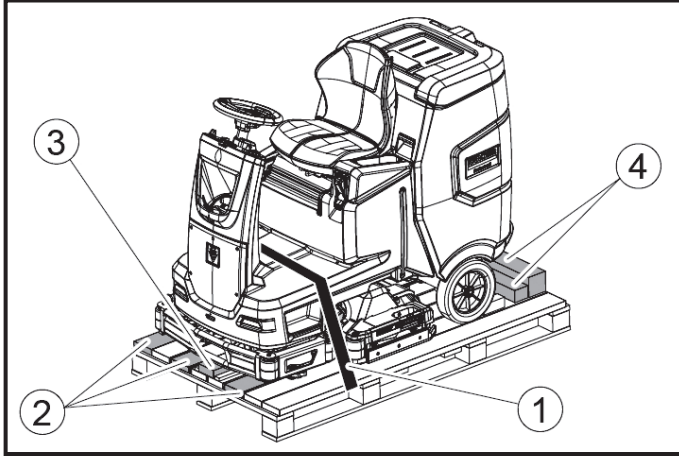
-  清水用タンクの排水口
-  汚水用タンクの排水口
-  清水用タンクレベル (50%)
-  固定ポイント
-  * モップホルダー
-  補充用水接続口
-  汚水用タンク洗浄装置用水接続口
-  ブラシ交換

* オプション

取り付け

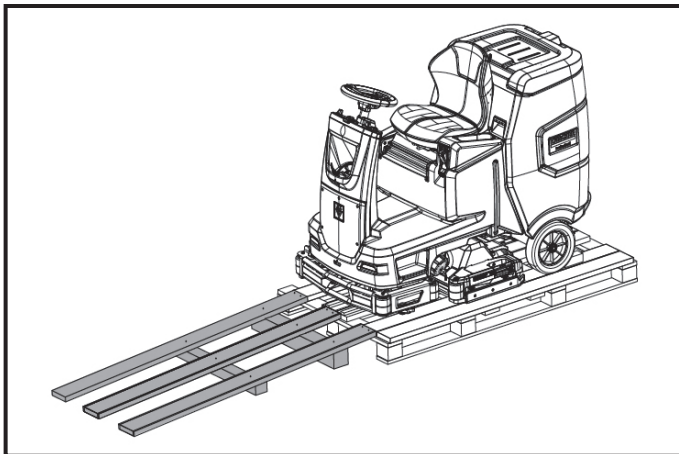
開梱する

1. 包装フィルムを取り外します。
2. ストラップを取り外します。



- ① ストラップ
- ② ボード
- ③ ブロック
- ④ ビーム

3. ブロック、角材、ボードのネジを取り外します。ネジを取り外す部品は、イラスト内でグレーで表示されています。
4. パレットの前に、ネジを取り外したボードと四角いティンバーでスロープを置き、チップボード・ネジで固定します。状況によって角材を補強してください。



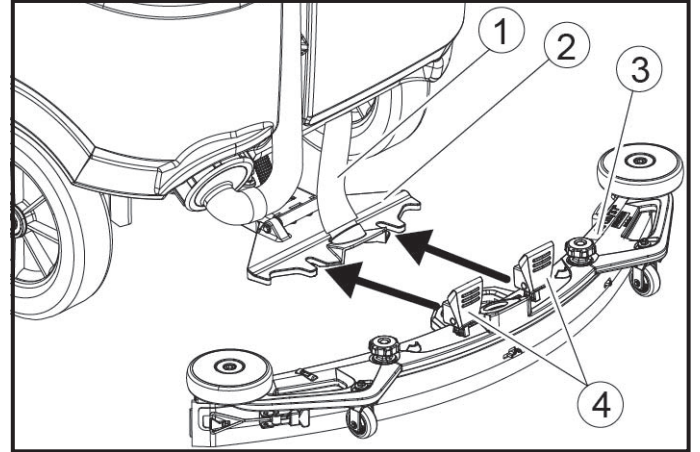
5. バッテリーを入れないで保管していた場合は、バッテリーを取り付けます (P.11「バッテリーをセッティングする」を参照)。
6. マシンを前進させ、パレットから離します (P.14「運転する」を参照)。

ブラシを取り付ける

ブラシの取り付け方法は、P.22「メンテナンス」を参照してください。

スクイジーを取り付ける

1. 両方のスクイジー取り付けレバーを上回転させます。



- ① サクションホース
- ② スクイジーサスペンション
- ③ スクイジー
- ④ スクイジー取り付けレバー

2. サクションバーをサクションバーサスペンションに挿入します。
3. 両方のクランプレバーを下に回転させます。

バッテリー

標準バッテリー

説明	注文番号	容積 (m ³)*	風量 (m ³ /h)**
170Ah - メンテナンスフリー、AGM	9.548-244.0	2.4	1.0

* 充電部屋の最小容積

** バッテリー充電部屋・環境間の最小気流

バッテリーをセッティングする

日本では出荷時にバッテリーをセッティングしてから出荷しています。

⚠ 注意

安全な場所でマシンのバッテリーを交換する

- バッテリーを交換するときは、マシンが安全な場所にあることを確認してください。

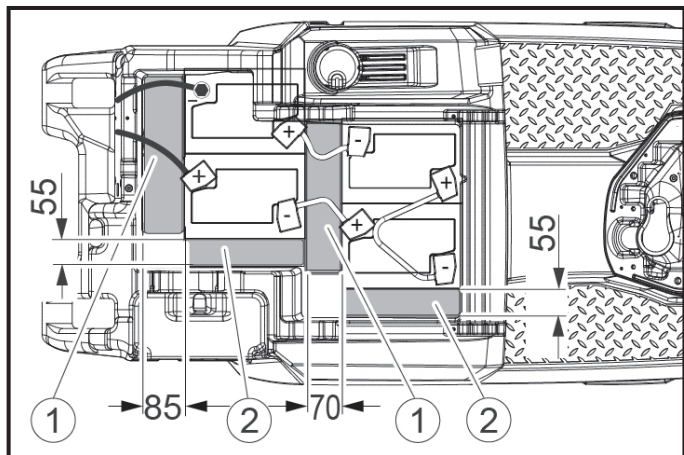
バッテリーの極性を確認する

- バッテリーを接続するときは、極性が正しいことを確認してください。

バッテリーを深放電させない

・マシンを使用する前にバッテリーを充電してください。

1. 汚水を排出します。
2. 汚水用タンクのロックを解除して、上に回転させます。
3. 図のように、バッテリーをマシンに挿入します。



170Ah、9.548-244.0

4. バッテリーとマシンの間にある、イラストで示されている位置にスペーサーを挿入します。
 5. 接続ケーブルをバッテリー端子に接続します。
 6. まだ空いているバッテリーの (+) と (-) の端子に接続ケーブルを接続します。
- 注意事項**
接続ケーブルをマイナス極に絶縁極ネジで取り付けてください。
7. マシン側のバッテリー用コネクタをバッテリー側のバッテリー用コネクタに接続します。
 8. 汚水用タンクを前方に回転させて閉じます。

バッテリーを取り外す

⚠ 注意

安全な場所でマシンのバッテリーを交換する

バッテリーを交換するときは、マシンが安全な場所にあることを確認してください。

1. 安全スイッチを「0」にします。
2. 汚水を排出します。
3. 汚水用タンクのロックを解除して、上に回転させます。
4. バッテリープラグを引き抜きます。

5. バッテリーのマイナス端子からケーブルを取り外します。
6. バッテリーから残りのケーブルを取り外します。
7. バッテリーを取り外します。
8. 使用済みのバッテリーは、各自治体の規定に従って廃棄してください。

マシンの準備

バッテリーを充電する

⚠ 危険

電圧に注意して充電器を使用する

マシンの銘板にある主電源電圧とヒューズの定格電圧に注意してください。

必ず十分に換気された乾燥した部屋で充電器を使用してください。

充電中に可燃性ガスが発生する

- ・充電は適切な部屋でのみ行ってください。部屋は、バッテリーの種類に応じた最小限の容積と、最小限の気流による適切な空気交換率が必要です (P.11「標準バッテリー」を参照)。

⚠ 注意

充電中にバッテリーから発生するガスに注意する

- ・メンテナンスフリーのバッテリーを充電する前に、汚水用タンクを上を持ち上げてください。
- 充電時間は平均約 10 ~ 15 時間です。
充電中はマシンを使用できません。

注意事項

マシンは深放電保護機能を備えています。バッテリーの残量が規定値まで減ると、ブラシモーターとタービンがオフになります。

1. 傾斜を避けて、マシンを充電器に直接接続できる場所まで使用します。

外部充電器

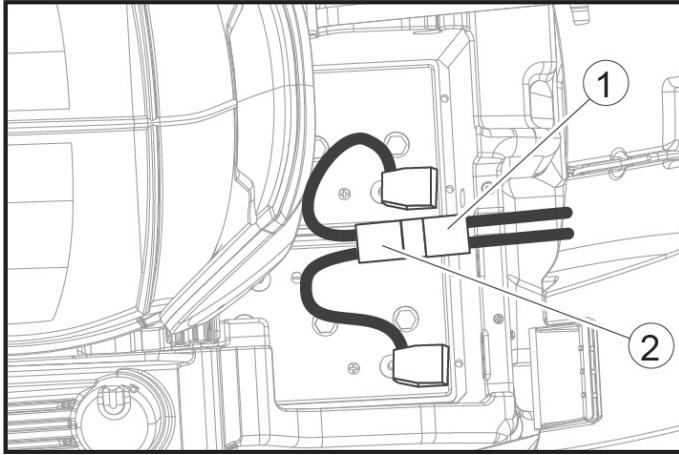
注意事項

適切な充電器を使用する

- ・充電器をマシン側のバッテリーコネクタに接続しないでください。
- 必ず危機に取り付けているバッテリーのタイプに適した充電器を使用してください。
- 充電器メーカーの取扱説明書を読み、記載してある注意事項を遵守してください。
- ローラーブラシ、ディスクブラシによって、充電器の仕様が内蔵タイプか外付けタイプか異なります。

バッテリー	容量	充電器
9.548-244.0	170 Ah	3.137-227.0

1. 汚水用タンクのロックを解除して、上に回転させます。
2. マシン側のバッテリーコネクタを引き抜きます。



- ①マシン側バッテリープラグ
②バッテリー側バッテリープラグ

3. バッテリー側のバッテリーコネクタを充電器に接続します。
4. 充電器のメインプラグをソケットに差し込みます。
5. 充電器の取扱説明書に従って充電します。
6. マシン側バッテリーコネクタとバッテリー側バッテリーコネクタを接続します。
7. 汚水用タンクを前方に回転させて閉じます。

内蔵充電器

1. 汚水用タンクのロックを解除して、上に回転させます。
2. 内蔵充電器の電源プラグをコンセントに差し込みます。
3. 充電後は、充電器の電源プラグをコンセントから引き抜きます。
4. 汚水用タンクを前方に回転させて閉じます。

注意事項

ローラーブラシ、ディスクブラシによって、充電器の仕様が内蔵タイプか外付けタイプが異なります。

マシンの使用

⚠ 危険

落下物を防ぐ

操作部に落下物が当たる可能性のある場所には、マシンを持ち込まないでください。

⚠ 注意

危険なときは使用を停止する

危険な場合は安全スイッチを「0」にしてください。

マシンを動かす

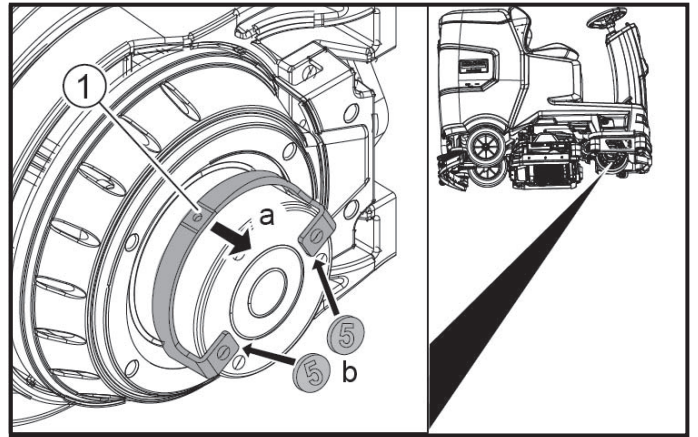
マシンを動かすには、ブレーキのロックを解除する必要があります。

⚠ 危険

ロックが解除されると、ブレーキの機能は働かなくなります。

ロック解除のためのコインは、マシンを押したあと、すぐに取り出してください。

1. ロック解除レバーをホイールから離して振り、その状態を保持します。



- ①ロック解除レバー

2. レバーの両端で、ケーシングとレバーの間にコインを挿入します。
3. ロック解除レバーを解除します。
4. マシンを押します。
5. マシンを押したあと、すぐにコインを取り出します。

シートを調整する

高さの調整

1. マシンの横に立ちます。
2. シートの背もたれを起こします。
3. 前部シートブラケットをマシンの希望する高さに合わせます。
4. 背もたれのシートを下げます。

位置の調整

1. シート調節レバーを操作して、シートを希望の位置まで移動させます。
2. シート調節レバーを解除して、シートを所定の位置に固定します。

マシンの電源を入れる

1. 運転席に座ります。
2. インテリジェントキー (KIK) を差し込みます。
3. 安全スイッチを「1」にします。
4. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。
5. 下記表示が出た場合は、アクセルペダルから足を離し、安全スイッチを「0」にして、必要なメンテナンスを実施してください。

表示	対処
maintenance squeegee	サクシオンバーを清掃してください。
maintenance brush head	ブラシに磨耗がないか確認し、清掃してください。
maintenance squeegee blade	吸引口が摩耗していないか確認し、正しく調整してください。
maintenance turbine filter	タービン保護フィルターを掃除してください。
maintenance fresh water filter	清水フィルターを掃除してください。

6. 情報ボタンを押します。
7. 該当するメンテナンスのカウンターをリセットします (P.19「メンテナンスカウンターをリセットする」を参照)。

注意事項

カウンターをリセットしない場合、マシンの電源を入れるたびにメンテナンス表示が再度表示されます。

ライトを点灯させる

デイトムランニングライト

デイトムランニングライトは、マシンの電源を入れると点灯します。

サイドライト

サイドライトは、プログラムスイッチがクリーニングプログラムに設定されると点灯します。

パーキングブレーキを確認する

⚠ 危険

パーキングブレーキの不具合

毎回運転する前に、平らな場所でパーキングブレーキの機能を点検してください。

1. マシンの電源を入れます。
2. 走行方向スイッチを「前進」にセットします。
3. プログラムスイッチを「トランスポートモード」にします。
4. アクセルペダルを軽く踏み込みます。ブレーキは聴覚的に解除される必要があります。マシンは平らな面では簡単に動作します。
5. アクセルペダルを離します。ブレーキがかかる音がします。そうでない場合は、マシンを停止し、カスタマーサービスに連絡してください。

運転する

⚠ 危険

ブレーキを確認する

このマシンを使用する前に、必ずパーキングブレーキの機能を確認してください。

パーキングブレーキが作動しない場合は、絶対に使用しないでください。

⚠ 危険

注意して運転する

進行方向の上り勾配と、進行方向を横切る勾配は、10%ずつしか運転しないでください。

上り勾配、下り勾配を曲がらないでください。

コーナーや濡れた路面では、ゆっくりと走行してください。

安定した地面でのみ運転してください。

注意事項

走行中は、進行方向を変えることができます。それによって、かなり汚れた場所を往復して磨くことができます。

1. 運転席に座ります。
2. インテリジェントキー (KIK) を差し込みます。
3. 安全スイッチを「1」にします。

4. プログラムスイッチを「トランスポートモード」にします。
5. 走行方向スイッチで進行方向を設定します。
6. アクセルペダルを踏んで、走行速度を設定します。
7. アクセルペダルを離します。マシンが停止します。過負荷の場合、駆動モーターは停止します。ディスプレイには故障のメッセージが表示されます。コントローラが過熱した場合、該当するパワーユニットの電源がオフになります。
8. 最低 15 分間、マシンを冷却します。
9. プログラムスイッチを「オフ」にし、しばらく待ってから、希望のクリーニングプログラムに設定します。

水を補充する

オートフィル機能(自動補充装置)を使って水を補充する

1. 給水ホースを補充装置の接続ノズルに接続します(最高水温 50°C)。
2. 水注入口を開けます。
3. 清水用タンクが満杯になると、自動補充装置が水の供給を中断します。
4. 水注入口を閉じます。
5. 給水ホースを外します。

水を補充する

1. 清水用タンクキャップを開けます。
2. 水(最高水温 50°C)を入れます。

注意事項

ホースは、水の補充中にホースホルダーで留めることができます。

3. 清水用タンクキャップを取り付けます。

洗剤を補充する

洗剤に関する注意事項

警告

推奨外の洗剤を使用しない

- 必ず推奨される洗剤を使用してください。その他の洗剤の場合、操作上の安全性と事故発生の観点から、使用者にとってたいへん危険です。洗剤は、必ず溶剤、塩酸、フッ化水素酸を含まないものを使用してください。
- 洗剤の安全注意事項を守ってください。

注意事項

発泡性の高い洗剤は使用しないでください。

推奨される洗剤

用途	洗剤
工業用床のメンテナンスクリーニング、中間クリーニング、基本クリーニング	RM 69 ASF
細かい石のタイルのメンテナンスクリーニングと基本クリーニング	RM 753
すべての耐アルカリ性の床(PVC など)のコーティング除去、グリスなどの油脂が多い床のクリーニング	RM 752
リノリウム床のコーティング除去	RM 754

DOSE(洗剤濃度自動調整機能)を使って洗剤を補充する

Dose バージョンのみ。

洗剤は、補充装置によってクリーニングヘッド前で水に追加されます。

1. 汚水用タンクのロックを解除して、上に回転させます。
2. 洗剤キャニスターに洗剤を満たします。
3. 汚水用タンクを前方に回転させます。

注意

補充装置で補充できる洗剤は最大 3% です。それ以上の量を入れる場合は、清水用タンクに入れる必要があります。

直接清水用タンクに洗剤を入れる方法

1. 清水用タンクに洗剤を補充します。

注意事項

清水用タンクのキャップのカバーは、洗剤の計量に使用することができます。カバー内側に計量目盛りがついています。

パラメーターを調整する

1. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。
2. 希望するパラメーターが表示されるまで、情報ボタンを回します。

3. 情報ボタンを押します。
調整した数値が点滅します。

4. 情報ボタンを回して、希望の値を設定します。

5. 情報ボタンを押して変更した設定を確定するか、10秒後に設定値が自動的に受理されるまで待ちます。

インテリジェントキー（黄色）

インテリジェントキー（黄色）は、クリーニングタスクに必要な機能を許可します。

さまざまなクリーニングプログラムのパラメーターは、マシンにあらかじめ設定されています。個々のパラメーターは、インテリジェントキー（黄色）の権限によって変更することができます。パラメーター設定のための表示テキストは、下記のとおりです。「FACT」パラメータ（Rクリーニングヘッドでのみ使用可能）。

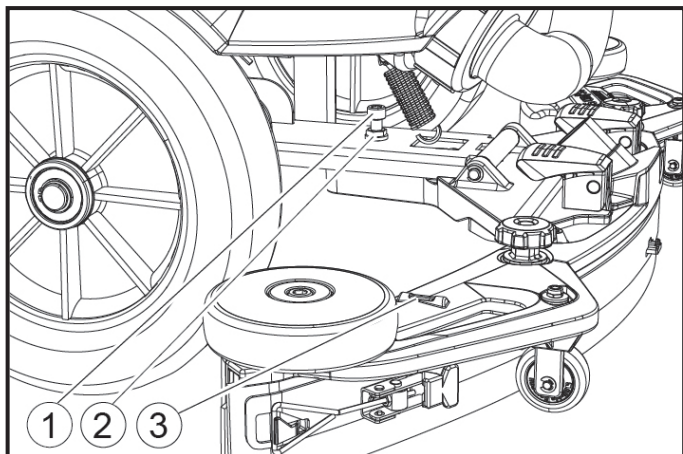
- ・「Fine Clean」：低速回転。敏感な床材の清掃に使用します。
- ・「Whisper Clean」：中速回転。日常の清掃などに使用します。
- ・「Power Clean」：高速回転。汚れがひどい時、凝固した汚れなどに。

スクイジーを調整する

傾斜を調整する

スクイジーの傾斜は、スクイジーのスクイジーゴムが全長に沿って床に均等に押し付けられるように調整する必要があります。

1. 傾斜のない床にマシンを置きます。
2. プログラムスイッチを「サクションモード（吸引のみ）」にします。
3. マシンを少し前方に動かします。
4. 水準器を読み取ります。



①ネジ

16

- ②ナット
- ③水準器

5. ナットを緩めます。

6. 水準器の表示が2本の線の間にくるようにネジを調整します。

7. ナットを締めます。

8. スクイジーの傾斜を確認するには、マシンをもう一度、少しの距離だけ前に動かします。必要に応じて、調整手順を繰り返します。

9. プログラムスイッチを「オフ」にします。

高さを調整する

スクイジーの高さ調整は、スクイジーゴムが床に接触したときのスクイジーゴムの湾曲に影響します。

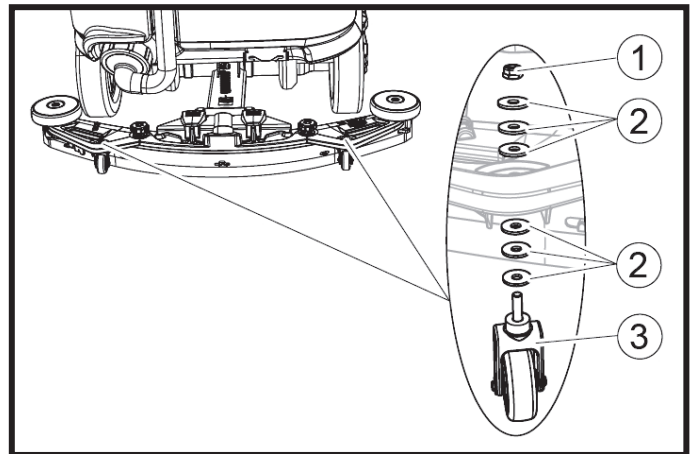
注意事項

標準設定：上に3つのワッシャー、スクイジーの下に3つのワッシャー。

不均一な床：上に5つのワッシャー、スクイジーの下に1つのワッシャー。

非常に滑らかな床：上に1つのワッシャー、スクイジーの下に5つのワッシャー。

1. ナットを緩めます。



- ①ナット
- ②ワッシャー
- ③ホルダー付きスペーサーローラー

2. スクイジーとスペーサーローラーの間に必要な数のワッシャーを配置します。

3. 残りの未使用のワッシャーをスペーサーローラーの上にはめ込みます。

4. ナットをねじ込んで締めます。

5.
2つ目のスパーサーローラーも同じ作業を繰り返します。

注意事項

スクイジーのスパーサーローラー取り付け部は、両方とも同じ高さに設定します。

リアスクイジーゴムの調整

リアスクイジーゴムの調整は、D クリーニングヘッドのみで可能です。

1. リアスクイジーゴムが地面に接するように、調整用ホイールを回してリアスクイジーゴムを調整します。
2. 調整用ホイールをさらに1回転下へ回します。

クリーニング

1. 運転席に座ります。
2. インテリジェントキー (KIK) を差し込みます。
3. 安全スイッチを「1」にします。
4. 走行方向スイッチを「前進」にセットします。
5. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。
6. アクセルペダルで速度を決定します。
7. ステアリングホイールで進行方向を決定します。
8. 清掃する面の上を走ります。

サイドスクラビングブラシ (特別仕様)

サイドスクラビングブラシを使用すると、エッジに近い部分の作業が容易になります。

注意事項

クリーニングプログラムの「サクションモード (吸引のみ)」「ポリッシュモード」では、サイドスクラビングブラシは使用できません。

1. サイドスクラビングブラシのスイッチを操作します。サイドスクラビングブラシが起動します。
2. サイドスクラビングブラシでの作業を終了するには、サイドスクラビングブラシスイッチを「0」にします。

清掃作業の終了後

クリーニングの終了

1. プログラムスイッチを「トランスポートモード」にします。
2. 短距離を走らせませす。床に残っている水を吸い取ります。
3. プログラムスイッチを「オフ」にします。
4. インテリジェントキー (KIK) を引き抜きます。
5. 必要に応じてバッテリーを充電します。

汚水を排出する

警告

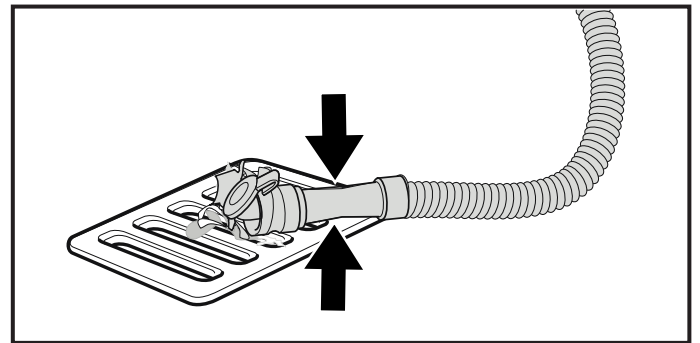
汚水を適切に処理する

汚水に関する各自治体の規定を遵守してください。

注意事項

汚水用タンクが満杯になると、汚水用タンクから水があふれないようにフロートで吸引の流れを遮断します。この場合は、汚水を排出してください。

1. 汚水ドレンホースをホルダーから取り出し、ドレンホースカバーを開けます。



2. ホースの先端部分を圧縮して、適切な排水施設の上に降ろします。

注意

先に先端部分を圧縮しないと、一気に汚水が流れてきます。

3. ホースの先端部分を圧縮して、排水の噴射強度を調整します。
4. 汚水用タンクをきれいな水ですすぎます。
5. ドレンホースカバーを閉めます。
6. 汚水ドレンホースをホルダーに押し込みます。

汚水用タンク洗浄装置 (仕様により標準またはオプション)

1. 汚水ドレンホースをホルダーから取り出し、ドレンホースカバーを開けます。
2. 汚水用タンクのカバーを閉じます。
3. 汚水用タンク洗浄装置の水接続口に給水ホースを接続します。
4. 水注入口を開き、約 30 秒間、汚水用タンクを洗浄します。
5. 必要に応じて、すすぎ作業を 2～3 回繰り返します。
6. 水注入口を閉じます。
7. 給水ホースを装置から外します。
8. 汚水ドレンホースをホルダーに押し込みます。

粗ゴミ容器を空にする

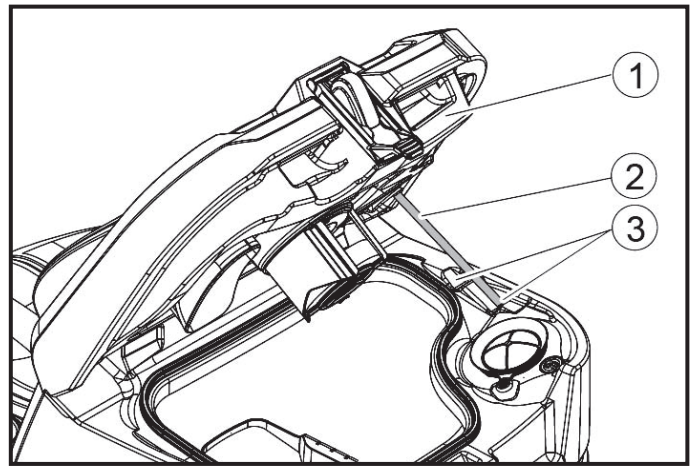
1. 粗ゴミ容器を持ち上げて引き抜きます。
2. 粗ゴミ容器を空にします。
3. 粗ゴミ容器を取り付け直します。

清水を排出する

1. 清水用タンクキャップのネジを外します。
2. 清水を排出します。
3. 清水フィルターを清掃します。
4. 清水用タンクのキャップをはめます。

本機を停止する

1. プログラムスイッチを「オフ」にします。
2. インテリジェントキー (KIK) を引き抜きます。
3. マシンが転がり落ちないように固定します。
4. 汚水用タンクのカバーを開け、汚水用タンクが乾燥するようにサポートで固定します。サポートを下方に振り、カバーを下ろす際に下端を希望する高さの水準器に合わせます。



- ① 汚水用タンクのカバー
- ② サポート
- ③ 水準器

5. 必要に応じてバッテリーを充電します。

インテリジェントキー (灰色)

インテリジェントキー (灰色) は、拡張された権限と設定オプションを管理者に付与します。

1. インテリジェントキーを差し込みます。
2. 情報ボタンを回して、必要な機能を選択します。

トランスポートモードを設定する

1. プログラムスイッチを「トランスポートモード」にします。
2. 情報ボタンを押します。トランスポートモードメニューから以下の機能を実行することができます。
 - ・最高速度の設定
 - ・運転時間カウンターの表示
 - ・メンテナンスカウンターのクリア
 - ・ソフトウェアバージョンの表示
 - ・R または D クリーニングヘッドの調整
 - ・速度依存の給水オン/オフの切り替え
 - ・アフターランニングタイムの設定
 - ・言語設定
 - ・キーの管理
 - ・アタッチメントキットのオン/オフ
 - ・工場出荷時設定の復元

最高速度を設定する

「max speed」メニューで最高速度を制限することができます。

1. 「max speed」がディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回します。

2. 情報ボタンを押します。

3. 希望する最高速度が表示されるまで、情報ボタンを回します。

4. 情報ボタンを押します。

⚠ 注意

作業速度は、設定した最高速度を超えることはできません。

メンテナンスカウンターをリセットする

ディスプレイに表示されているメンテナンス作業を行った場合、対応するメンテナンスカウンターをリセットする必要があります。

1. 「maintenance count.」がディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回します。

2. 情報ボタンを押します。
カウンターが表示されます。

3. クリアするカウンターが選択されるまで、情報ボタンを回します。

4. 情報ボタンを押します。

5. 情報ボタンを回して、「Yes」を選択します。

6. 情報ボタンを押します。
カウンターがクリアされます。

クリーニングヘッドを調整する

1. 「brush head」がディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回します。

2. 情報ボタンを押します。

3. 内蔵クリーニングヘッドのタイプが選択されるまで、情報ボタンを回します。
「Roll」 = R クリーニングヘッド
「Disc」 = D クリーニングヘッド

4. 情報ボタンを押します。

速度依存の給水を設定する

速度依存の給水がオンになっている場合、ブラシへの給水は速度に比例して変化します。

水量は、各クリーニングプログラム（0～100%）の設定にも影響されます。

設定	ON (ml/m ²)	OFF (l/min)
0%	0	0
10%	7.5	0.6
20%	15	1.1
30%	22.5	1.7
40%	30	2.3
50%	37.5	2.8
60%	45	3.4
70%	52.5	3.9
80%	60	4.5
90%	67.5	5.1
100%	75	5.7

速度依存給水または一定量給水を設定します。

1. 「water dosage mode」がディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回します。

2. 情報ボタンを押します。

3. 希望する機能が選択されるまで、情報ボタンを回します。

4. 情報ボタンを押します。

アフターランニングタイムを設定する

1. 「delay times」がディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回します。

2. 情報ボタンを押します。

3. 希望するアセンブリが選択されるまで、情報ボタンを回します。

4. 情報ボタンを押します。

5. 希望のアフターランニングタイムが表示されるまで、情報ボタンを回します。

6. 情報ボタンを押します。

言語を設定する

1. 「language」がディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回します。

2. 情報ボタンを押します。

3. 希望の言語が選択されるまで、情報ボタンを回します。

4. 情報ボタンを押します。

キーを管理する

「key menu」メニューでインテリジェントキー（黄色）とディスプレイの言語に対する認証を行うことができます。

1. インテリジェントキー（灰色）を差し込みます。
2. 「key menu」がディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回します。
3. 情報ボタンを押します。
4. インテリジェントキー（灰色）を引き抜き、パーソナライズするインテリジェントキー（黄色）を差し込みます。
5. 情報ボタンを回して、変更するメニュー項目を選択します。
6. 情報ボタンを押します。
7. 情報ボタンを回して、メニュー項目の設定を選択します。
8. メニュー項目を押して、設定を確認します。
9. 情報ボタンを回して、次に変更するメニュー項目を選択します。
10. すべての設定が終わったら、「save」がディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回します。
11. 情報ボタンを押します。
認証が保存されます。

アタッチメントキットのオン/オフを切り替える

1. 希望のアタッチメントキットがディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回します。
2. 情報ボタンを押します。
3. アタッチメントキットの希望する機能が表示されるまで、情報ボタンを回します。
4. 情報ボタンを押します。

工場出荷時設定を復元する

すべてのクリーニングパラメーターの工場出荷時の設定が復元されます。

1. 「factory settings」がディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回します。

2. 情報ボタンを押します。
3. 「Yes」が選択されるまで、情報ボタンを回します。
4. 情報ボタンを押します。

クリーニングプログラムのパラメーターを調整する

クリーニングプログラムのすべてのパラメーターは、別の設定が選択されるまで保持されます。

1. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。
2. 情報ボタンを押します。
最初の調整可能なパラメーターが表示されます。
3. 情報ボタンを押します。
調整値が点滅します。
4. 情報ボタンを回して、希望の値を設定します。
5. 変更した設定値を確認するには、情報ボタンを押すか、10秒後に設定値が自動的に受理されるまで待ちます。
6. 情報ボタンを回して、次のパラメーターを選択します。
7. 希望するすべてのパラメータを変更したら、「exit」がディスプレイに表示されるまで、情報ボタンを回します。
8. 情報ボタンを押します。
メニューが終了します。

マシンの運搬

危険

傾斜での移動は角度に注意

上げ下ろしの際、傾斜の角度がマシンで許容されている最大値を超えないように注意してマシンを移動してください（P.28「テクニカルデータ」を参照）。

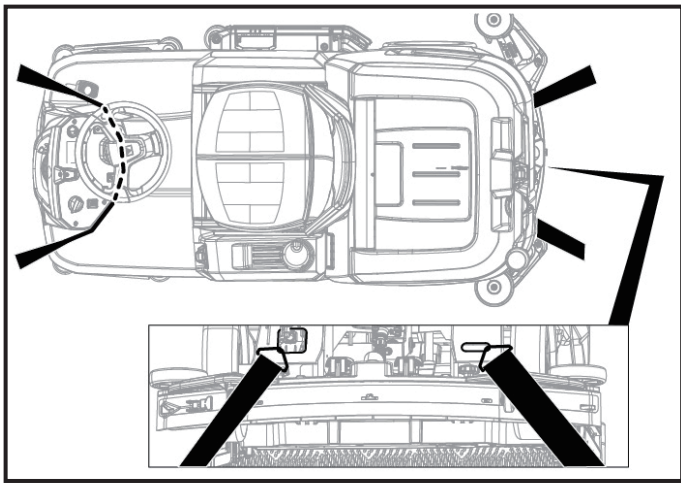
ゆっくり移動してください。

注意

マシン運搬時の転倒・転落を防止する

運搬するときは、マシンの重量に注意してください。

1. D クリーニングヘッドを取り付けた状態で、ブラシヘッドからディスクブラシを再度移動させます。
2. 車両での運搬時には、各運搬用機材のガイドラインに従って、固定用ベルトを使用してマシンが滑ったり転倒したりしないように固定します。



保管

⚠ 注意

マシン保管時の転倒・転落を防止する

保管の際にはマシンの重量に注意してください。

マシン内に残留した水分の凍結を防止する

マシン内部の水を完全に空にします。

マシンは凍らない場所に保管してください。

- このマシンは必ず屋内で保管してください。
- 長期間保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。
- 保管中は、少なくとも月に1回はバッテリーを完全に充電してください。

お手入れとメンテナンス

⚠ 危険

意図せずマシンのスイッチがオンになるのを防止する

マシンのお手入れやメンテナンスを開始する前に、プログラムスイッチを「オフ」にしてインテリジェントキーを取り外してください。

充電器の電源プラグを抜きます。

- 汚水と清水を排出して処分します。

メンテナンス間隔

クリーニング後

⚠ 注意

故障を予防するためにマシンの清掃は適切に

マシンに水をかけないでください。

溶解力の高い洗浄剤は使用しないでください。

個々のメンテナンス作業の詳細については、P.22「メンテナンス」を参照してください。

- 汚水を排出します。
- 汚水用タンクをきれいな水ですすぎます。
- 粗ゴミフィルターを清掃します。

- R クリーニングヘッド使用時のみ。粗ゴミ容器を取り外して空にします。
- 湿らせた布に中性洗浄剤を含ませて、マシンの外側を清掃します。
- スクイジーゴムを清掃し、摩耗をチェックし、必要に応じて交換します。
- リアスクイジーゴムを清掃し、摩耗をチェックし、必要に応じて交換します。
- ブラシを清掃し、摩耗をチェックし、必要に応じて交換します。
- バッテリーを充電します。
 - » 常にフル充電することでバッテリーが長持ちします。

週に1回のお手入れ

- マシンを頻繁に使用する場合は、少なくとも週に1回、最後までバッテリーを完全に充電してください。

月に1回のお手入れ

個々のメンテナンス作業の詳細については、P.22「メンテナンス」を参照してください。

- 装置が一時的に停止した場合は、バッテリーの均等充電を行います。
- バッテリー端子の酸化・サビの程度を確認して、必要に応じてブラシで取り除きます。接続ケーブルがしっかりと固定されていることを確認してください。
- 汚水用タンクとカバーの間のシールを清掃し、漏れがないか確認し、必要であれば交換します。
- 清水用タンクの水を抜き、付着物を洗い流します。
- 清水フィルターを清掃します。
- バッテリーがメンテナンスフリーでない場合は、セルの酸濃度をチェックします。
- R クリーニングヘッドを使用時のみ。ブラシトンネルを清掃します。
- R クリーニングヘッドを使用時のみ。クリーニングヘッドの配水管を清掃します。
- マシンを長期間使用しない場合は、バッテリーを完全に充電した状態で電源を切る必要があります。少なくとも月に1回はバッテリーを完全に充電します。

年に1回のお手入れ

- カスタマーサービスに所定の検査を実施してもらいます。

安全点検・保守契約

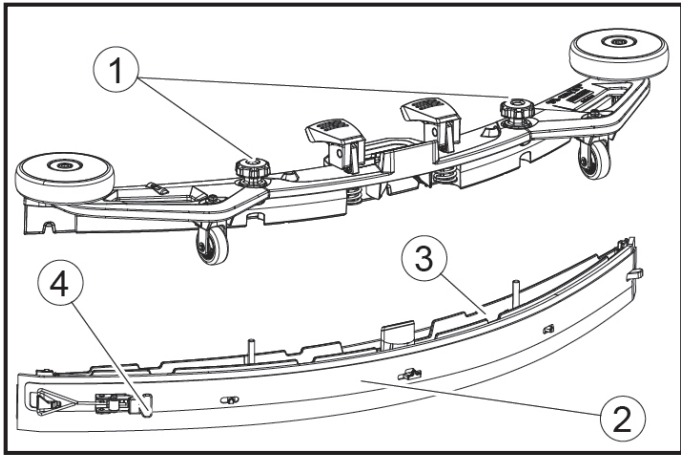
販売店との間で、定期的な安全点検の実施やメンテナンス契約の締結を合意することができます。その際にご相談ください。

メンテナンス

スクイジーゴムを上下を反転して再使用するか交換する

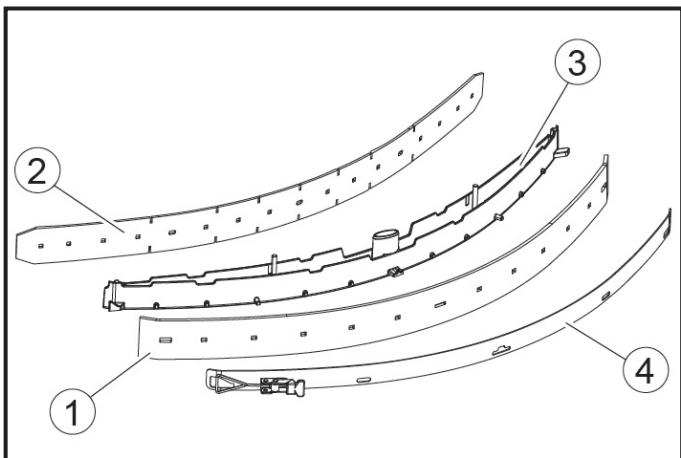
スクイジーゴムが摩耗している場合は、上下を反転して再使用するか交換する必要があります。

1. スクイジーを取り外します。
2. 取り付けネジを緩めます。



- ①取り付けネジ
- ②ストラップ
- ③スクイジーゴム取り付け台
- ④テンションロック

3. スクイジーゴム取り付け台を引き出します。
4. テンションロックを開きます。
5. ストラップを外します。
6. 内側からスクイジーゴムを緩めます。

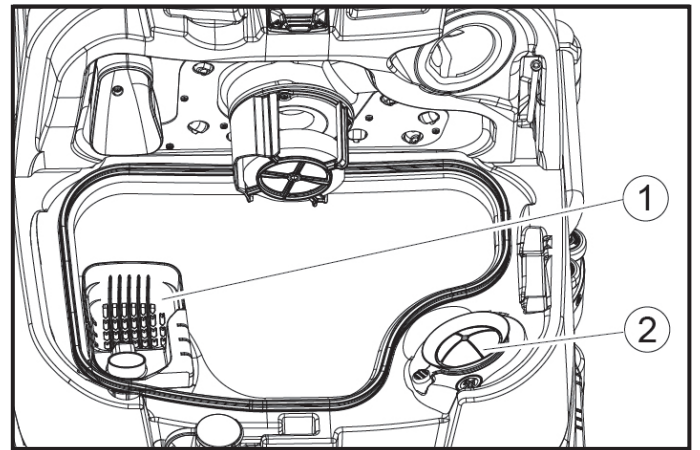


- ①リアスクイジーゴム
- ②フロントスクイジーゴム
- ③スクイジーゴム取り付け台
- ④ストラップ

7. 上下を反転した、または新しいスクイジーゴムをスクイジーゴム取り付け台のノブに押し付けます。
8. ストラップを取り付けます。
9. スクイジーゴム取り付け台を上部にスライドさせます。
10. 取り付けネジをねじ込んで締めます。

粗ゴミフィルターを清掃する

1. 汚水用タンクのカバーを開けます。

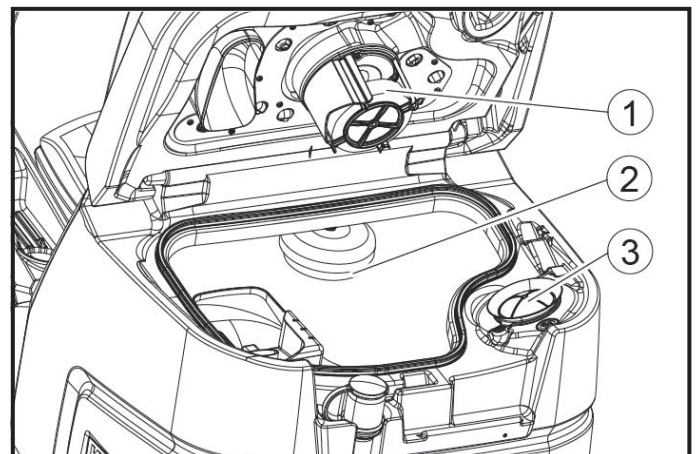


- ①粗ゴミフィルター
- ②タービン保護フィルター

2. 粗ゴミフィルターを上引き抜きます。
3. 粗ゴミフィルターを流水ですすぎます。
4. 粗ゴミフィルターを汚水用タンクに挿入します。

フロートとタービン保護フィルターを掃除する

1. 汚水用タンクのカバーを開けます。



- ①フロート
- ②フロートスイッチ

③タービン保護フィルター

2. フロートをきれいな水で清掃します。
3. フロートスイッチをきれいな水で清掃します。
4. タービン保護フィルターを取り外して清掃します。

ディスクブラシを交換する

注意事項

ブラシが 10mm まで摩耗したら、ディスクブラシを交換します。

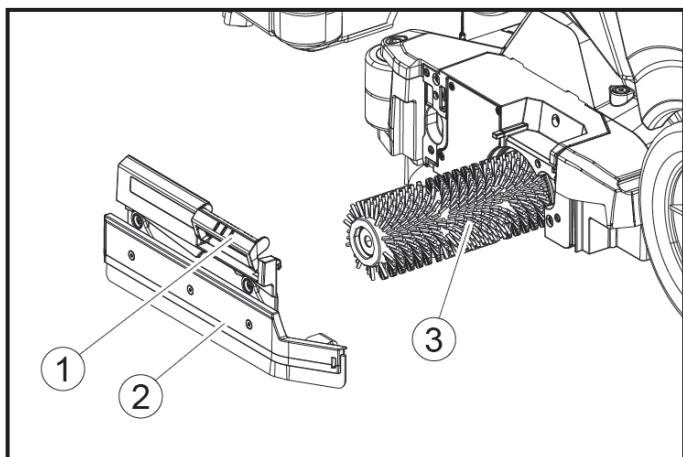
1. クリーニングヘッドを持ち上げます。
2. ブラシ交換ペダルを踏みます。
3. クリーニングヘッドの下からディスクブラシを引き出します。
4. 新しいディスクブラシをクリーニングヘッドの下に置き、押し上げて所定の位置にはめ込みます。

ローラーブラシを交換する

注意事項

ブラシが 10mm まで摩耗したら、ローラーブラシを交換します。

1. クリーニングヘッドを持ち上げます。
2. ブラシ交換ハンドルを引き抜きます。



- ① ブラシ交換ハンドル
- ② リアスクイジーゴム付きベアリングカバー
- ③ ローラーブラシ

3. リアスクイジーゴム付きベアリングカバーを取り外します。

4. ローラーブラシを引き出します。

5. 新しいローラーブラシを装着し、ドライバーの中央に置きます。

- ① ドライバー
- ② 取り付けマンドレル

6. リアスクイジーゴム付きベアリングカバーを取り付けます。

注意事項

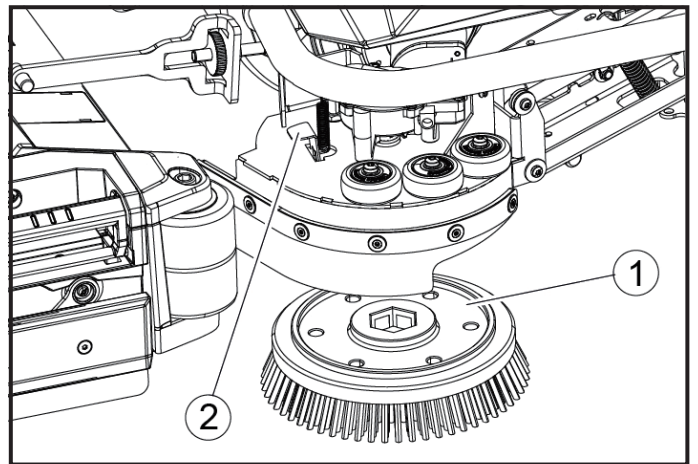
ローラーブラシが取り付けマンドレルの上に乗っていることを確認し、マンドレルの下に入らないようにしてください。

7. ブラシ交換ハンドルを上方向に回転させ、所定の位置にはめ込みます。

8. もう片方の面も同じように繰り返します。

サイドスクラビングブラシを交換する(オプション)

1. ブラシ交換レバーを下方向に押します。



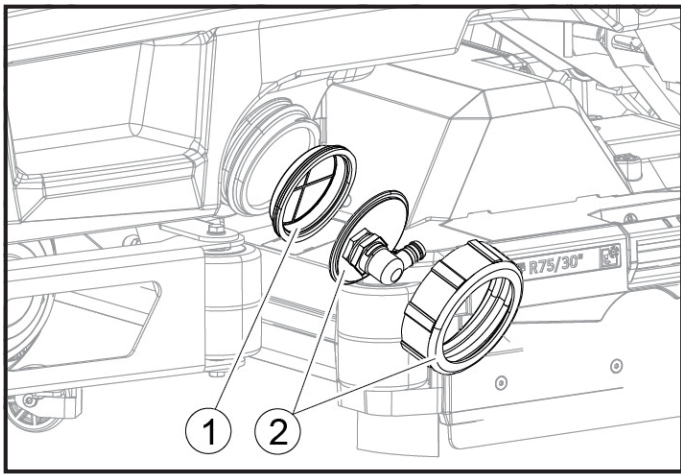
- ① サイドスクラビングブラシ
- ② ブラシ交換レバー
ブラシがサポートから落ちます。

2. 新しいブラシをサイドスクラビングブラシの下で保持し、上方に押しつけて所定の位置にはめ込みます。

清水フィルターを清掃する

1. 清水を排出します (P.18 「清水を排出する」を参照)。

2. 清水用タンクキャップのネジを外します。



①清水フィルター

②清水用タンクロック

3. 清水フィルターを引き抜き、きれいな水ですすぎます。

4. 清水フィルターを挿入します。

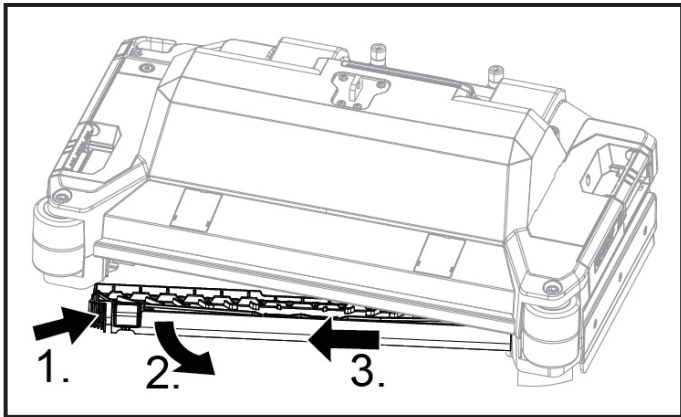
5. 清水用タンクロックを取り付けます。

注意事項

キャップをねじ込んで固定したあと、清水用タンクキャップのホース接続部がタンク内の最も低い位置にあることを確認してください。

配水管を清掃する

1. ラッチを矢印の方向に押し、その状態を保持します。



2. 配水管を前方に回転させます。

3. 配水管を縦に引き抜きます。

4. 配水管を清掃します。

5. 配水管をクリーニングヘッドに戻し、ロックを所定の位置にはめ込みます。

バッテリーを洗浄する

1. 安全ゴーグル、保護服、保護手袋を着用します。

2. バッテリーセルのプラグを閉じたままにします。

3. バッテリーを取り出します。

4. バッテリーのプラスチック部分とバッテリー収納部は、水または添加物の入っていない水に浸したクリーニングクロスのみで洗浄します。

5. 洗浄後、表面を乾かします。

6. バッテリーを取り付けます。

メンテナンスカウンターをリセットする

ディスプレイに表示されているメンテナンス作業を行った場合、対応するメンテナンスカウンターをリセットする必要があります。

注意事項

メンテナンスカウンターのリセットについては、P.19「メンテナンスカウンターをリセットする」を参照してください。

故障かな？と思ったら

⚠ 危険

意図せずマシンのスイッチがオンになるのを防止する

- マシンでお手入れやメンテナンスを開始する前に、インテリジェントキーを取り外してください。
- 充電器の電源プラグを抜きます。
- バッテリーのコネクターを外します。
 1. 汚水を排出します。
 2. 清水を排出します。

注意事項

この表を使用しても解消できない障害が発生した場合は、カスタマーサービスに連絡してください。

ディスプレイに表示される障害情報

表示された障害が以下のリストにない場合は、以下の操作を行ってください。

1. プログラムスイッチを「オフ」にします。
2. 10 秒待ちます。
3. プログラムスイッチを前の機能に設定します。
4. 故障が再発する場合は、カスタマーサービスに連絡してください。

障害	解決策
fresh water empty	1. 清水用タンクに水を補充します。
water valve blocked	1. プログラムスイッチを「オフ」にします。 2. 10 秒待ちます。 3. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。
overload brush head	1. ブラシの接触圧を下げてください。
blocked main brush	1. ブラシに異物が詰まっていないか確認し、必要に応じて異物を取り除きます。 2. プログラムスイッチを「オフ」にします。 3. 10 秒待ちます。 4. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。
overload side brush	1. サイドスクラビングブラシの接触圧を下げます。
blocked side brush	1. ブラシに異物が詰まっていないか確認し、必要に応じて異物を取り除きます。 2. プログラムスイッチを「オフ」にします。 3. 10 秒待ちます。 4. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。
waste water tank full	1. 汚水用タンクを空にします。
overload drive motor	1. 勾配が急すぎます。 a クリーニング動作中です。クリーニングを中止します。 b 運搬中です。勾配の少ない経路を探します。
blocked drive motor	1. ホイールに詰まりがないか、異物を取り除きます。 2. プログラムスイッチを「オフ」にします。 3. エンジンがオーバーヒートした場合は、15 分以上冷却し、そうでない場合は 10 秒待ちます。 4. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。
battery low	1. プログラムスイッチを「トランスポートモード」にします。 2. 充電器に直接（または内蔵充電器を使用してソケットに）駆動させます。勾配を避けてください。 3. バッテリーを充電します。
battery empty	1. プログラムスイッチを「トランスポートモード」にします。 2. 充電器（内蔵充電器の場合はソケット）まで最短距離で運転します。勾配を避けてください。 3. バッテリーを充電します。
seat switch open	1. 運転席を短時間解放し、制御部がシートコンタクトスイッチの機能を確認できるようにします。
switch on!	1. 安全スイッチを「1」にします。

障害	解決策
restart machine	1. プログラムスイッチを「オフ」にします。 2. 10 秒待ちます。 3. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。
release throttle	1. アクセルペダルを離します。

ディスプレイに情報が表示されない障害

障害	解決策
マシンを起動できない	1. 運転席に座ります。 2. 安全スイッチを入れる前に、アクセルから足を離します。 3. 安全スイッチを「1」にします。 4. バッテリーを確認し、必要に応じて充電します。 5. プログラムスイッチを「オフ」にします。 6. 10 秒待ちます。 7. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。 8. 可能であれば、平坦な場所でのみ運転します。 9. 必要に応じて、パーキングブレーキを確認します。 それでも異常が発生する場合は、カスタマーサービスに連絡してください。
マシンが動作せず、ディスプレイに「battery empty」と表示される	1. プログラムスイッチを「オフ」にします。 2. 10 秒待ちます。 3. プログラムスイッチを「トランスポートモード」にします。 4. 充電ステーションまで運転します。 5. それでも動かない場合は、その場で充電するか、ブレーキを解除して (P.13 「マシンを動かす」を参照)、マシンを充電ステーションまで押します。
起動時や停止時にマシンの動きにムラがある (ジャークする)	1. ブレーキロックを解除します。 (P.13 「マシンを動かす」参照)。
水量が不足している	1. 真水の注入量を確認し、必要であれば空気を押し出すように完全に水を入れます。 2. 清水フィルターを取り外して掃除します。 3. 清水フィルターを挿入し、キャップをねじ込みます。 4. R クリーニングヘッド使用時のみ。クリーニングヘッドにある配水板を引き抜きます。 5. R クリーニングヘッド使用時のみ。水路の清掃を行います。 6. ホースに詰まりがないか確認し、必要に応じて清掃します。
手でタンクを空にした後あと、清水補充レベル表示が誤った内容で表示される	1. マシンを使用します。操作中、ホースシステムがバントされ、清水補充レベル表示が修正されます
清水補充レベル表示が点滅し、ディスプレイに「fresh water empty」と表示される	1. 清水用タンクに水を補給します。
吸引性能が低すぎる	1. 汚水用タンクとカバーの間のシールを清掃し、漏れがないことを確認し、必要であれば交換します。 2. タービン保護フィルターに汚れがないか確認し、必要に応じて清掃します。 3. スクイジーのスクイジーゴムを清掃し、必要に応じて裏返したり交換したりします。 4. 汚水ドレンホースのカバーを閉めます。 5. 汚水用タンク洗浄装置のカバーを閉めます。 6. サクションホースに詰まりがないか確認し、必要に応じて清掃します。 7. サクションホースに漏れがないか確認し、必要に応じて交換します。 8. スクイジーの調整を確認します。
クリーニングの仕上がりに不満がある	1. クリーニング作業に適したクリーニングプログラムを設定します。 2. クリーニング作業に適したブラシを使用します。 3. クリーニング作業に適した洗浄剤を使用します。 4. 走行速度を下げます。 5. 接点圧を調整します。 6. リアスクイジーゴムを調整します。 7. ブラシに磨耗がないか確認し、必要に応じて交換します。 8. 水の出方を確認します。
ブラシが回転しない	1. 接点圧力を下げます。 2. ブラシに異物が詰まっていないか確認し、必要に応じて異物を取り除きます。 3. モーターに過負荷がかかっている場合は、モーターを冷却します。 4. プログラムスイッチを「オフ」にします。 5. 10 秒待ちます。 6. プログラムスイッチを希望のクリーニングプログラムに設定します。 7. 本機のプラグがクリーニングヘッドに差し込まれていることを確認します。

障害	解決策
マシンにブレーキがかからない	1. ブレーキロックを解除します (P.13「マシンを動かす」を参照)。
汚水ドレンホースが詰まっている	1. ドレンホースのところにあるドージングユニットカバーを開けます。 2. サクションホースをスイッチャーから引き抜き、手で閉じます。 3. プログラムスイッチを「サクションモード (吸引のみ)」にします。 詰まりは、ドレンホースから汚水用タンクに吸い出されます。
洗浄剤のドージングユニット (「Dose」) が動作しない	1. 「Dose」バージョンのみ。カスタマーサービスに連絡してください。

保証

保証書は日本国内でのみ有効です。保証期間中は、製造上の欠陥が原因とみられる故障に関しては無料で修理を致します。保証請求の際は、必ず販売日を証明するものをご提示ください。

消耗品や正常劣化・寿命の場合、また販売日を証明する書類のご提示がない場合は、有償となります。

購入日から規定の日数以内にユーザー登録をして頂くと、製品 (アクセサリパーツ、洗浄剤を除きます) の保証期間が2年に延長されます。

対応アクセサリ

ローラーブラシ付きクリーニングヘッド付属品

A：包装単位、B：マシンに必要な数量

説明	R75 部品番号	備考	A	B
ローラーブラシ、赤 (ミディアム、標準)	4.035-605.0	汚れのひどい床のメンテナンス清掃に。	1	2
ローラーブラシ、白 (ソフト)	6.907-771.0	繊細な床の研磨やメンテナンスクリーニングに。	1	2
ローラーブラシ、オレンジ (高/低)	6.907-730.0	構造床 (安全牌など) のスクラビングに。	1	2
ローラーブラシ、グリーン (ハード)	6.907-731.0	汚れのひどい床の基本的な清掃、ワックスやアクリレートなどの被膜除去に使用します。	1	2
ローラーブラシ (黒) (ベリーハード)	6.907-732.0			
マイクロファイバーローラー	4.114-007.0	平滑床のメンテナンス洗浄用。	1	2
パッドローラーシャフト	4.762-627.0	ローラーパッド保持用。	1	2
ローラーパッド、イエロー	6.369-454.0	床磨き用。	20	96; 106
ローラーパッド、赤 (ミディアム)	6.369-456.0	汚れの軽い床の清掃に。	20	96; 106
ローラーパッド、グリーン (ハード)	6.369-455.0	通常の床から汚れのひどい床までの清掃用。	20	96; 106

ディスクブラシ付きクリーニングヘッド付属品

A：包装単位、B：マシンに必要な数量

説明	D75 部品番号	備考	A	B
ディスクブラシ、ナチュラルカラー (ソフト)	4.905-020.0	床磨き用。	1	2
ディスクブラシ、白	4.905-019.0	繊細な床の研磨やメンテナンスクリーニングに。	1	2
ディスクブラシ、赤 (ミディアム、標準)	4.905-018.0	汚れの軽い床やデリケートな床のクリーニングに。	1	2
ディスクブラシ、黒 (ハード)	4.905-021.0	汚れのひどい床の清掃に。	1	2
ファインダイヤモンドパッド、グリーン	6.371-236.0	石灰を含むカバーリングやエポキシ樹脂のレジコートフロアのリフレッシュに。	5	2
粗目ダイヤモンドパッド、白	6.371-252.0		5	2
ミディアムダイヤモンドパッド、イエロー	6.371-253.0		5	2
パッド駆動基板	4.762-447.0	パッド保持用。	1	2

スクイジーアクセサリ

A：包装単位、B：マシンに必要な数量

説明	部品番号	備考	A	B
スクイジーゴムセット、フロントPU、リアライナテックス	4.039-366.0	半耐油性 (油分は少ない環境向け)	1組	1組
スクイジーゴムセット、ライナテックス	4.039-356.0	標準	1組	1組
PUスクイジーゴムセット	4.039-357.0	耐油性	1組	1組

テクニカルデータ

		B 110 R 75	B 110 D 75
一般			
駆動・クリーニング速度	km/h	6	6
搬送速度	km/h	6	6
後方走行速度	km/h	4	4
表面性能（理論値）	m ² /h	4500	4500
サイドスクラッピングブラシ使用時の表面性能（理論値）	m ² /h	5100	5100
表面性能（実測値）	m ² /h	3150	3150
清水用タンク容量	l	110	110
汚水用タンク容量	l	110	110
粗ゴミ容器容量	l	1.8	-
洗浄剤タンクの容量（「Dose」オプション）	l	5	5
洗浄剤の投入	%	0.25~3	0.25~3
水の投与量	l/min	0.15~5.7	0.15~5.7
単位面積あたりの積載量（ドライバーと清水用タンク満杯時）			
面圧	N/mm ²	0.62~0.66	0.62~0.66
単位面積あたりの荷重（重量/駐車場面積）	kg/m ²	470~542	470~542
外形寸法図			
長さ	mm	1640	1640
幅	mm	740	740
ワイドスクイジー	mm	950	950
高さ	mm	1310	1310
作業幅	mm	750	750
サイドスクラッピングブラシ使用時の作業幅	mm	850	850
梱包寸法 l × w × h	mm	1750 × 990 × 1475	1750 × 990 × 1475
ターンサークル	mm	1750	1750
バッテリー収納部寸法 l × w × h	mm	2 × (315 × 386 × 375)	2 × (315 × 386 × 375)
タイヤ			
前輪幅	mm	90	90
前輪直径	mm	250	250
後輪幅	mm	75	75
後輪直径	mm	290	290
重量			
認定総重量	kg	650	650
正味重量（輸送重量）	kg	480	480
標準的な動作重量	kg	540	540
ブラシ接触力（最大）	N(kg)	736(75)	736(75)
ブラシ接触圧（最大）	N/m ² (g/cm ²)	510(500)	41(40)

マシン性能データ			
公称電圧	V	24	24
バッテリー容量	Ah(5 時間)	170	170
平均入力電力	W	2350	2350
公称電力	W	2500	2500
駆動モーター出力	W	600	600
サクショントービン出力	W	600	600
ブラシ駆動力	W	2 × 600	2 × 600
保護等級		IPX3	IPX3
吸引			
吸引性能、空気量	l/s	~25	~25
真空度 (最大)	kPa(mbar)	~17(~170)	~17(~170)
真空度 (動作時)	kPa(mbar)	~5(~50)	~5(~50)
クリーニングブラシ			
ブラシ直径	mm	100	385
ブラシの長さ	mm	705	-
ブラシ速度	l/min	1200	180
サイドスクラビングブラシ直径	mm	220	220
サイドスクラビングブラシ速度	l/min	220	220
内蔵充電器			
ケーブル長	m	2	2
公称電圧	V	100~240	100~240
周波数	Hz	50-60	50-60
電源入力	W	750	750
充電電流	A	28	28
効率性の度合い	%	92	92
環境条件			
許容温度範囲	℃	5~40	5~40
最大作業領域傾斜水温	℃	50	50
補充装置の水圧 (オプション)	MPa(bar)	1(10)	1(10)
汚水用タンク洗浄装置水圧 (オプション)	MPa(bar)	1(10)	1(10)
相対湿度	%	20~90	20~90
傾斜			
最大作業領域傾斜	%	10	10
短距離傾斜 (最大 10m) 搬送、積載	%	22	22
EN60335-2-72 に準拠した決定値			
ハンドアーム振動値	m/s ²	<2.5	<2.5
シート振動値	m/s ²	<2.5	<2.5
不確実性 K	dB(A)	0.2	0.2
騒音レベル L _{DA} エコモード時	dB(A)	59.2	59.2
騒音レベル L _{DA} ノーマルモード時	dB(A)	63.6	63.6
不確実性 K _{DA}	dB(A)	1.6	1.6
音響出力レベル L _{WA} + 不確実性 K _{WA} エコモード時	dB(A)	74.1	74.1
音響出力レベル L _{WA} + 不確実性 K _{WA} ノーマルモード時	dB(A)	78.7	78.7
サイドスクラビングブラシ			
出力	W	140	140
ブラシ接触力 (最大)	N(kg)	88(9)	88(9)
ブラシ接触圧 (最大)	N/m ² (g/cm ²)	30.6(30)	30.6(30)

技術的な変更が行われることがあります。



THANK YOU! MERCİ! DANKE! ¡GRACIAS!

■ ユーザー登録で1年保証を2年に延長できます。

品質に自信があるからこそその長期保証。
お客様に安心してお使いいただくためのアフターサービスを提
供しています。
ユーザー登録をしていただくことで、製品の保証期間を2年に
延長いたします。

※ご購入後30日以内に、当社ホームページからユーザー登録が必要です。

期間を過ぎてからの登録は対象外とさせていただきます。

※アクセサリ、パーツ、洗浄剤を除きます。

登録ユーザー限定

2年[※]

業務用製品

保証

下記URLまたはQRコードで、当社ホームページからお申し込みいただけます。

https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/registry.html

Webからのユーザー登録はこちら



■ 製品のご用命、仕様、修理に関するお問い合わせ

業務用製品コールセンター

TEL : 045-777-7410 FAX : 045-777-7411

受付時間：9:00～17:00 月曜～金曜日(祝日、当社休日を除く)

※修理のお申し込みは、下記 URL または QR コードで当社ホームページからも
お申し込みいただけます。

https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html

Webからの修理申し込みはこちら



KÄRCHER

ケルヒャー ジャパン株式会社